

岡山市区づくり推進事業助成申込書  
(地域活動部門)

平成27年3月30日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ タベチヨウ`ントウゲ`イウゲ`ンショウホ`ンカイ  
 団体名 建部町伝統芸能伝承保存会  
 所在地 岡山市北区建部町田地子1339  
 連絡先 〆722-2413  
 フリガナ ホダ`ヨシキ  
 代表者氏名 会長 本田 義章

※提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

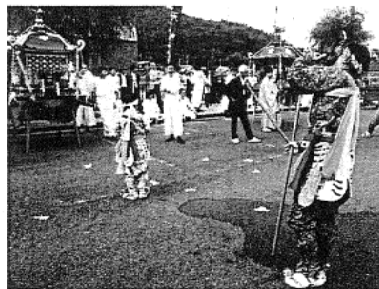
応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起こし <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他
事業名称	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施区域(小学校区)	北区建部町 建部小学校区 竹枝小学校区 福渡小学校区
事業実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続    回目 (    年度から)
事業の目的	<p>本会は、建部地域の各地区で伝承される伝統芸能について、保存と伝承を推進するための活動を行っているところである。</p> <p>建部地域の神楽は、県中央部特有の獅子神楽で、古いものでは江戸時代中期より<u>継承されている神楽</u>もある。棒遣いは、古武道竹内流の棒術の所作を取り入れられたとも言われている。</p> <p>建部地域は少子高齢化に加え、人口流出による集落機能が低下した中山間地域ではあるが、この素晴らしい伝統芸能を後世に伝えていくために、<u>子どもたちへの指導や地域内外に向けた広報活動</u>などを行うことを目的とする。</p>
事業の必要性	<p>本会は、建部地域の14団体で構成しているが、各団体に目を向けてみると、年々継承者(演舞者)が減っている状況にある。ここ数年で女人禁制を解除して、<u>全ての団体で女兒(女性)が参画</u>した。</p> <p>建部地域を人口統計で見ると、平成27年1月末現在、年少人口8.76%、生産年齢人口49.71%、高齢者人口41.53%となっており、<u>少子高齢化への対応が課題</u>ではあるが、限られた中で如何に伝統芸能を継承していくかが鍵となっている。転出者はもちろんであるが、地域外の方々の参画も必要などときかもしれない。</p>

事業の内容	<p>【伝承活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 構成団体ごとで → 子どもたちへの指導、指導者の育成。</li> <li>* 転出者(特に経験者)へ参画を呼びかけする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 神楽・棒遣いは、一人ではできないので、とにかく人員確保が先決。</li> </ul> </li> </ul> <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域内外で開催されるイベント等へ積極的に出演しPRする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 今まで秋祭りだけの発表を、もう少し広範囲に展開する。はっぼね桜まつり、建部町納涼花火大会、建部町文化祭、御津獅子舞フェスタ、桃太郎まつりなど。</li> </ul> </li> <li>* ソーシャルメディアを利活用した広報戦略によりPRする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ホームページ、Facebook、YouTube等を駆使して、全国へ向けて情報発信する。</li> </ul> </li> </ul>
期待される成果	<p>【伝承活動】</p> <p>子どもたちが参加するためには、「楽しい」とか「興味」とかが必要となる。発表の場づくりも必要とされる。→ 子どもたちが大人になっても参加し続けることで、<u>継続した伝承活動</u>が図れる。また、一人でも多くの子どもたちが参加することで、将来に向けて<u>指導者候補</u>が確保できる。</p> <p>【広報活動】</p> <p>現在、県指定重要無形民俗文化財が33件あり、このうち2件が建部地域にある。昭和32年指定の志呂神社御供と平成6年指定の建部祭りである。→ どちらも神楽と棒遣いが奉納されているが、地域外へは情報発信されておらず、来訪者(観光客)はほとんどいない。広報活動することで、<u>来訪者増</u>はもちろんのこと、<u>建部地域への関心度アップ</u>が図れ、ひいては<u>都市農村交流</u>や<u>移住・定住</u>のきっかけとなれば、素晴らしい活動として継続できる。</p>
企画など工夫	<p>こういった取組は、既に御津地域で「獅子舞継承活動事業」が実施されているが、歴史的にも古くから伝承されている建部地域も同様な活動と、かつ建部地域ならではの先進的な活動を行うことで、<u>お互いの地域での相乗効果</u>が図れる。</p> <p>また、建部が御津へ、御津が建部のイベント等へ出演することで、お互いの演舞の善し悪しが確認できるなど、伝承活動にも取り入れられる。</p> <p>最も重要なことは「<u>情報発信</u>」であると思う。ソーシャルメディアを利活用した広報活動によって、全国どこでも誰もが閲覧できるし、閲覧者との情報共有を図ることが出来る。</p>
事業の情報公開	<p>本事業においては、伝承活動と併せて広報活動を行うこととしている。「建部地域の神楽・棒遣い(仮称)」というホームページを立ち上げ、これに併せてFacebookページとYouTubeチャンネルも登録して相互リンクする。管理者を複数配置することで、定期的に継続した更新に努める。また、市や県など行政のホームページとも相互リンクを推進する。</p>

次 年 度 以 降 の 予 定	<p><b>[27年度]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①構成団体ごとで子どもたちに指導</li> <li>②地域内外のイベント等への出演（まずは出演交渉から始める）</li> <li>③ホームページの作成及び設置（作成方法を検討した上で行う）</li> <li>④Facebookページ、YouTubeチャンネルの登録（ホームページに先行して行う）</li> <li>⑤練習風景見学ツアーなど都市農村交流事業の検討</li> </ul> <p><b>[28年度以降]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①構成団体ごとで子どもたちに指導</li> <li>②地域内外のイベント等への出演</li> <li>③ホームページで情報発信</li> <li>④Facebookページ、YouTubeチャンネルで情報発信</li> <li>⑤練習風景見学ツアーなど都市農村交流事業の実施</li> </ul>
そ の 他 P R し た い 点	<p>古来より引き継がれてきた伝統文化、そして未来へ引き継いでいく伝統文化は、地域地域によって異なっており、その継承方法も千差万別である。</p> <p>先にも記しましたが、建部地域だけでなく、御津地域や岡山市の他地域で伝承されている伝統芸能とのネットワークを広げ、いつの日か「岡山市伝統芸能大会」が企画されることを願うし、積極的に呼びかけて行きたいと思う。</p>



**中田上之町魁組神楽保存会**



**郷社多自枯鴨神社棒遣い保存会**



**下神目神楽・棒遣い保存会**



# 事業スケジュール

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議			企画会議			企画会議						
準備・会議	準備会議											
事業執行					練習・指導 イベント等出演							
反省会											反省会	
監査報告会											監査報告会	
次年度企画会議										企画会議		